

<p>情報発信の推進 チーム</p>	<p>項目：新しい情報発信の仕組み作り 具体的内容：法人でのインスタグラムの開設</p>	<p>提出日：3月18日 作成者：古谷・酒井・西川・賤間</p>
--------------------	---	---

背景・現状分析・課題点	
<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信、収集は SNS やインターネットに移行しており写真や画像、動画など視覚的な要素が主流になっている ・市内6法人の半分（あそか、ケイメゾン、オアシス）はインスタグラムを開設している（市内の事業所も多数開設） 	<p>背景</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・事業団は HP のみの開設で情報を取得する入り口が狭く多くの階層の方に見てもらうことが重要 	<p>現状分析</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・HP には施設情報や求人情報の記載はある ・イベントなども再開できておらず発信するものが少ない 	<p>課題</p>

解決策（内容・手段・戦略・費用）
<ul style="list-style-type: none"> ・事業団でインスタグラムを開設し、情報を発信するとともに HP に誘導し、求人や施設利用につなげる。 ・情報発信委員会を設置し、SNS 運用規定を作成しルールを決め、施設から発信する情報を集め、インスタグラムに投稿する ・誘導先の HP の更新頻度を上げ、ブログはインスタグラムの情報で代用 ・各事業所にイベントの再開や発信する情報の提供を打診 ・インスタグラム自体の費用は0、映像情報は施設配布の iPad を使用 ・事業団封筒に HP やインスタグラムの QR コードを印刷

担当・ターゲット	
<ul style="list-style-type: none"> ・情報発信委員会委員 ・各施設管理者、職員 ・総務課職員 	<p>担当者</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・伊丹市民 ・利用者、利用者家族 ・居宅ケアマネジャー ・求職者 	<p>ターゲット</p>

スケジュール・日時
<ul style="list-style-type: none"> ・R6.4 委員募集、立ち上げ、各施設に情報提供依頼 ・R6.5 年間スケジュール作成 SNS 運用ガイドライン検討 ・R6.7 SNS 運用ガイドライン作成 ・R6,8 アカウント作成、随時更新

成果（効果）・目標	
<ul style="list-style-type: none"> ・市民への事業団のアピール機会増加 ・訪問・通所・施設利用者の増 ・求人の増加 ・手軽さによる若い世代へのアピール 	<p>効果</p>
<ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの閲覧数 ・インスタグラムのフォロワー数 ・いいね数 	<p>成果 指標</p>